

新しく生き方を発信することによって、国際大会に向けたエコツーリズムが高梨コシダタタ一である知事が旗を振りはじめて、取り組みやすさがあるのですね。全国からみた時に、新しい生き方を発信していくとしているところです。平井小回りがきく理由はココに見えます。太宰の先生、貧道家の方、旅館の主人、トレッキングのガイド、皆が写真を撮っている方、大都市ではバラバラな存在ですが、うちもそれが一つのお皿の上にのっています。皆でやることなどあります。皆がやることは大きなことです。

新しい生き方を発信 国際大会に向けて



第1回 おじいちゃん

大都市からお客様が来るようにな
り、3分の1くらいの方が宿泊をさ
れ、ホテルは無いので民泊で受け入
れました。夏場には森セラピーの
会合が開かれ、療養校を利用した宿泊
施設を設け、そこで寝泊まりをしてま
した。簡単なものですが、参加され
た方々には大変喜ばれ、リピーター
になつてしまつたみたいですね。私たち
も取り組みを通してます。私たち
もお客様が宿泊を必要がある時に
おスチタイル、暮らす旅に旅するスタイル

1 2 3 4 5 6 7 8

昨年度は960人の参加があり、セラピーワークshopを行っており、森林公園などで様々なメニューを用意し、森林の中を歩くプログラムや、書き下ろりの講座を計7セラピートを養成し、森の中を歩く

ビーの取り組みを始めた。森林が残つており、一昨年から森林セラル頭明は、山深いところで慶長杉木頭明また、関西からの文蘭口にならん知。ンを表示しました。ドを整備し、路面上に地名などのサムケを開催すること共にサムケランダロードクラム山などハイキングコース、一ツツ山、ト・大山やヒ

し、造成したツアーホームを販売、運営を始めた。商品造成は実験的で、少しずつ始めた。商品造成には文化歴史探訪など、オブショナルツアーや宿泊体験、街中の文化歴史探訪など、中でもサイクリングには力を入れています。

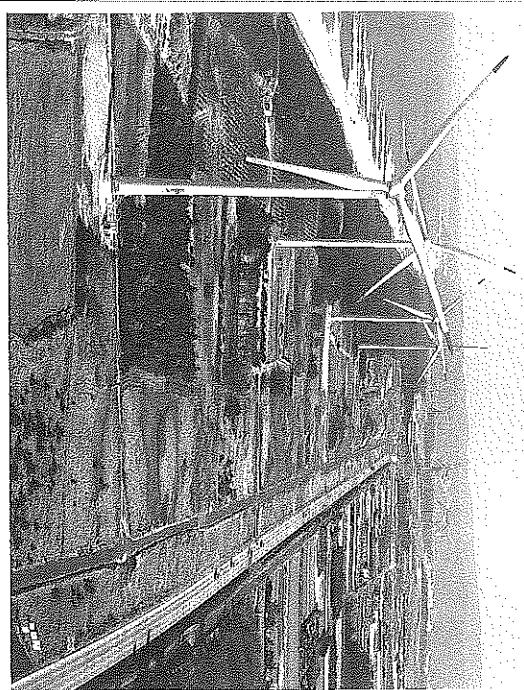
たが、そのためにはお客様に楽しんでいただけるアトラクションがもつと必要です。私たちも大山に皆生温泉と一緒にアトラクションを設置すればそれでツアーティスクラムが生まれます。

A black and white photograph capturing a landscape scene. In the foreground, a large, dark, irregularly shaped object, possibly a fallen tree or debris, lies across the frame. The background consists of rolling hills or mountains, with a bright, possibly sunlit area in the upper right corner. The overall texture is grainy and has a high-contrast, almost abstract quality.

周回遅れのトツップランナー

と見えてました。今、全県的に商品造成に取り組んでいます。

鳥取の魅力 神々が遊ぶ場所



北洋の北洋兵同士叢書

松下幸之助「觀光立國の弁」
ただけると思ひます。
工コツアリスマム国際大会を通じて、雄大な大山や美しい日本海と共に書らしてきただ日本人の嘗みだけでなく、再生可能エネルギーなど、新しい生き方を世界へ発信していくため、参加者の皆様にも楽しめていたい、
高梨 松下幸之助氏は昭和28年の「文藝春秋」で「觀光立國の弁」を書いたとき、その中で日本人は素晴らしく、売り惜しみをしていくとあります。然や文化などの資源があるにもかか
化(金)があります。その象徴的な日本は一つ山越えると違った文
が鳥取があり、海、山、多く人が見て知つて体験していく
様な文化など、一つ一つある。しかし、それらの資源が
つまむどものすい資源がたくさんためには、宝に少し多く見えないのです。外の人には
たくためには、宝に少し手を加え、参加しやすい形
にして演出し、発信する必要があります。

エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取 開催

水の運営を人への贈り

2013年10月19日(土)、20日(日)、21日(月)

(米子コンベンションセンター)

卷之三

トーグセッション、交流会
20日(日) : エクスカーション、大山交流会、
ナイトスマ

卷之三

〔上ヨリ〕久公国际人云 2013〔鳥取〕美川安貞云

電行 朱昌合書務局 TEL : 0859-31

卷之三

平井伸治(ひらい しんじ)

昭和 59 年、東京大学法学部卒業後、旧自治省に入省。在職中に兵庫県、福井県、鳥取県に出向。平成 18 年、自治体国際化協会ニヨーネク事務所長就任。平成 19 年 2 月に総務省を退職。同年 4 月に鳥取県知事選挙に初当選し、知事に就任。平成 23 年に鳥取県知事選挙に再選、現在に至る。